

### 第3部 諸地域世界の結合と変容

#### 7 アジア諸地域世界の繁栄と成熟

##### 3 東南アジアの大航海時代（教科書 P.122～123）

###### ① 海の文明と港市国家 [p.122]

- ・14世紀以降 東南アジアに來航する商人増加（インド，西アジア，ヨーロッパ，中国などから）  
→ [                    ]，金，錫などを求める
- ・沿岸や主要河川に大きな港市が形成される→海上の東西交易と内陸部を結ぶ接点に  
↓  
[                    ] の出現  
〈港市国家〉
- ・国際交易を基盤に，後背地を支配
- ・17世紀まで東南アジアの交易の時代の担い手
- ・中国への [                    ] を行い，イスラームを受容
- ・港に外国人・貿易を管轄する役人をおく

###### ② マラッカ王国とジャワ・スマトラ [p.122]

- [                    ]
- ・15世紀はじめに建国，明に朝貢
- ・国王がイスラームに改宗  
→インド洋周辺のムスリム商人などが訪れる
- ・香辛料，陶磁器，絹，銀などの交易で繁栄する  
→国際交易都市に
- ・ [                    ] に滅ぼされる  
→ムスリム商人は群島部へ移動
- 〈マラッカ王国滅亡後〉  
スマトラ島… [                    ] 王国  
ジャワ島…バンテン王国，マタラム王国 } が台頭
- ・ [                    ] が共通語に

- ・〔 　　　　　　 〕 (法学者) や 〔 　　　　　　 〕 (聖者) が往来→民衆にイスラーム文化が浸透

### ③ 大陸部の国々 [p.123]

#### タイ

- ・〔 　　　　　　 〕 朝がスコータイ朝を併合し、アンコール朝を滅ぼす

→ { 豊富な輸出産品  
南シナ海とベンガル湾のあいだ } 貿易で繁栄

- ・国王は〔 　　　　　　 〕 を保護し、外国人を登用

→ 〔 　　　　　　 〕 は国王の傭兵隊長に

- ・ポルトガルや日本の貿易船 (〔 　　　　　　 〕) が往来

→ 日本町ができる

#### ミャンマー(ビルマ)

- ・〔 　　　　　　 〕 (1531～1752 年) が全土を統一

→ イギリスやオランダとの交易で繁栄

- ・〔 　　　　　　 〕 (1752～1885 年) はアユタヤ朝を滅ぼし、清を撃退して領土拡大